

VIII. 組 織

1. 原爆資料センター運営委員会委員（平成4年4月1日現在）

原 耕平, 朝長万左男, 新川 詔夫, 関根 一郎, 近藤 宇史, 奥村 寛,
山下 俊一, 池田 高良, 田口 尚, 長瀧 重信, 林 邦昭

2. 職員（平成5年4月1日現在）

センター長（併）	朝 長 万左男
共通部門 事務補佐員	富 田 恭 子
資料調査部 主任（併）	新 川 詔 夫
講師	三 根 真理子
助手	近 藤 久 義
助手	本 田 純 久
技官	横 田 賢 一
技能補佐員	深 堀 三八子
病理部 主任（併）	関 根 一 郎
助教授	岸 川 正 大
助手	井 関 充 及
助手	榮 美保子
技官	藤 沢 吉 広

あとがき

センター長の奥村寛教授が、原爆後障害医療研究施設の施設長に就任されたのに伴い、4月より朝長万左男教授がセンター長に就任された。

一般業務に加えて、このところチェルノブイリの研究者の受け入れに見られるように、担うべき領域が国際的な広がりを見せ始めている。あらためて我々の基礎的研究の積み重ねが益々大事になっている事を痛感した。ただ、原爆後障害研究会を見ても、近年の原爆被災の学術研究は被爆50周年を間近にして、その内容には若干の変化が感じられる。本来の資料センターの目的業務は堅持しつつも、今後は資料センターの研究にも変化の流れが加わっても不思議ではない。

新センター長のもと、決意も新たに業務に、研究に邁進した93年であった。

(Kishi)